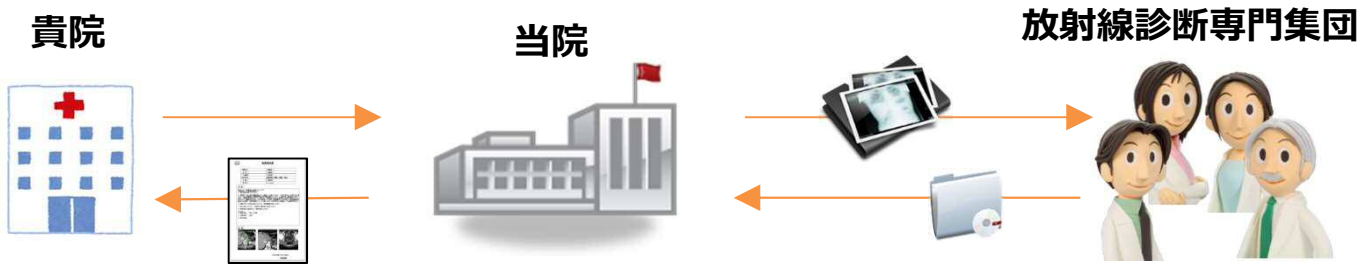
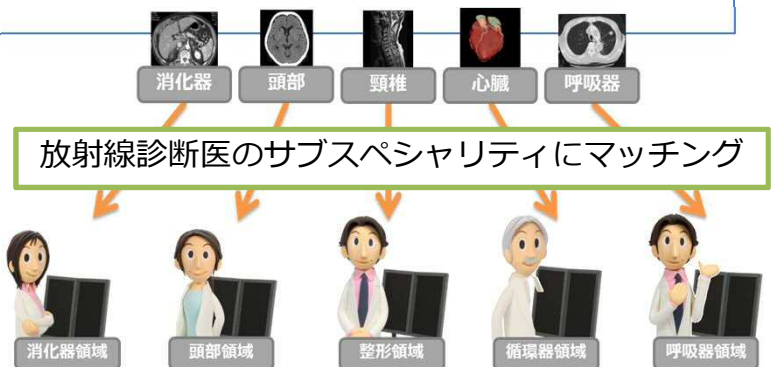


画像診断のダブル読影を行っています！



加東市民病院では、各診療科の多種多様なニーズや進歩する画像診断技術に対応するため、遠隔画像診断(CT・MRI)を導入しました。診断委託先では、撮影画像が放射線科診断専門医の専門領域ごとに割り振られることによって、高品質な読影レポートの報告を実現しています。ご希望の先生方には、従来の当院放射線科医による読影レポートに加え、遠隔画像診断を利用した読影レポートも報告いたします。

※遠隔画像診断を利用した読影レポートは、検査の翌診療日に郵送となります。ご了承ください。



当院の装置について

● CT

80列MDCTに更新しました。従来の装置より、高速撮影・高画質・被ばく低減を実現しています。例えば、胸部CT撮影では、旧装置では約10秒の息止めが必要でしたが、新装置では、2秒以内の息止め時間で撮影が可能であり、放射線量も75%低減され、被ばくについても従来の4分の1となっています。肝ダイナミックCTや下肢CTAなど造影検査もご依頼ください。



● MRI

1.5テスラ高磁場MRI装置です。トンネルが広く開放感があり、独自の静音化技術を有する、患者さんにやさしい装置です。脳や腹部などの内科系、各関節や脊椎などの整形外科系の一般的な描出能は十分に有しています。急性期脳梗塞の評価が可能な頭部拡散強調画像(DWI)や造影剤を使用しない脳血管撮影(MRA)が撮像でき、海馬傍回を画像解析し早期アルツハイマー型認知症診断支援のVSRADを行うことも可能です。



お問い合わせ

加東市民病院 放射線科

TEL 0795-42-5511(代表)

